

眺
め
た
く
な
る



小樽市職員採用パンフレット

小樽

Enjoy seeing Otaru

보고 싶은 오타루 享受观赏小樽 享受欣赏小樽

小樽市観光ポスター「眺めたくなる小樽」



小樽市について

小樽市は海岸に面して東西に36.47kmと細長い土地形状で、港周辺から山に向かって扇状に街並みが広がっています。市街地は日本海に面し、三方が山に囲まれていることから坂や斜面の多い地形ですが、自然豊かな環境です。

北海道開拓の玄関口として栄え、明治から昭和初期にかけての歴史的建造物が数多く現存し、情緒あふれる独特の街並みを形成しており、国内外から訪れる多くの観光客で、まちは賑わっています。

人口

- 人口 ————— 103,632人
 - 世帯 ————— 60,162世帯
- (R7年4月末現在)

面積

- 面積 ————— 243.83km²

気象

- 平均気温 ————— 10.4℃
 - 日最高気温 ————— 34.9℃
 - 日最低気温 ————— -13.5℃
 - 総降雪量 ————— 532cm
 - 最深積雪 ————— 124cm
- (R5年中)

交通

- バス
小樽駅⇔札幌駅 ——— 高速バス:約60分
- JR
小樽駅⇔札幌駅 ——— 快速:約30分
各駅停車:約45分
小樽駅⇔新千歳空港駅 — 快速:約70分
- 車
小樽⇔札幌(中心部) — 高速利用:約45分
一般道:約60分
小樽⇔新千歳空港 — 高速利用:約70分



保育所・幼稚園等

- 認可保育所 ————— 17か所
 - 幼稚園 ————— 7か所
 - 認定こども園 ————— 11か所
 - 認可外保育施設 ————— 4か所
- (R6年5月現在)

学校

- 小学校(市立) ————— 17校
 - 中学校(市立) ————— 12校
 - 高等学校 ————— 7校
 - 大学等 ————— 2校
- (R6年5月現在)

医療

- 病院 ————— 15か所
 - 一般診療所 ————— 65か所
 - 歯科診療所 ————— 75か所
- (R6年5月現在)

災害(自然災害の少ないまち)

- 平成以降、震度4以上を観測した地震

年	地震	マグニチュード	最大震度	小樽の震度
1993	釧路沖	7.5	6	4
1993	北海道南西沖	7.8	5	5
2003	十勝沖	8	6弱	4
2018	北海道胆振東部	6.7	7	4

まちづくり 6つのテーマ

子ども・子育て

安心して子どもを生み育てることのできるまち

地域全体で子育てを支え、子どもを守り育てる環境を整えるとともに、小樽の未来を担う子どもたちに、多様な社会的変化を乗り越えるための力を育む学校教育を地域と連携・協働しながら取り組み、誰もが安心して子どもを生み育てることができ、子どもたちが健やかに育まれるまちを目指します。



市民福祉

誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち

市民一人ひとりが、年齢や性別、障がいの有無に関係なく、互いの人権を尊重しながら、生涯にわたり住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者の生きがいづくりや支援体制の構築、障がい者の地域生活支援体制の充実、市民の健康づくりや食の安全の確保、良質で安全な医療環境の整備など、乳幼児から高齢者までライフステージに応じた施策の推進により、誰もがいきいきと健やかに暮らすことのできるまちを目指します。

産業振興

強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち

今後予定される北海道新幹線の開通も見据えながら、本市の多彩な魅力の発信などによる更なる観光振興によって観光客の増加を図り、各産業にその経済効果を上げるとともに、新たな需要の創出や、北海道日本海側の拠点である2つの港湾、札幌市や後志圏と隣接する地理的特性などの強みを生かした産業振興により、安定した雇用を創出し、にぎわいのあるまちを目指します。



生活基盤

生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち

小樽特有の地形・気象などの状況の下、周辺の豊かな自然環境、情緒あるまちなみや歴史的資産などを生かし、市民や民間企業等と連携や協働しながら、快適で利便性が高く、自然災害に強い生活基盤を充実することにより、観光客には魅力が感じられ、高齢者や子どもに配慮した、全ての人にとって、安全で暮らしやすいまちを目指します。

環境・景観

まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち

四季の彩りに恵まれた自然や豊かな環境を将来の世代へ引き継いでいけるよう、生活環境の保全や循環型社会の形成に向けた取組を行うとともに、自然環境との調和を図りながら、ゼロカーボンの達成に向けた取組を推進するなど、地球にやさしく、潤いと安らぎのあるまちづくりを進めます。

また、本市は、北海道開拓の玄関口として栄えた歴史を持ち、運河のほか、北海道産業の近代化に貢献した多くの歴史的建造物などの景観資源を有しています。これらを本市固有の財産として守り育てるとともに、魅力ある都市景観の形成を目指します。



生きがい・文化

生きがいにあふれ、人と文化を育むまち

一層の高齢化が見込まれる中、市民一人ひとりに生涯各期にわたる多様な学習機会やスポーツ・レクリエーション活動を行う環境を提供するとともに、市民による文化芸術の振興や多様な歴史文化資源の保存・活用に取り組み、海外との交流による多様な文化と触れ合いながら、市民の活力を高め、小樽らしさと国際性の豊かなまちを目指します。



先輩職員の紹介

事務

この仕事を選んだ理由

福利厚生がしっかりしており、長く働くことができると思い公務員を目指しました。その中で一番市民との距離が近い自治体職員になりたいと考えました。小樽市で働きたいと思ったのは、学生時代、部活動の練習で訪れたときに、自然あふれる街並みが素敵だったり、対応してくれた人がとても温かかったことが魅力的だと感じたからです



働いていて実感すること

相手にとってわかりやすいかどうかを常に気にする必要があると感じました。特に電話対応では、相手の顔が見えないため、言葉のニュアンスの違いで受け取られ方が大きく異なる場合があるので、言い回し等に気をつけています。



建築技術

小樽市を志望した理由は何ですか？

小樽市には、歴史的建造物が数多く残されていて、歴史や文化を今に伝え、小樽らしい街並みを形成しています。また、運河周辺以外にも様々な特徴ある景観があります。そんな小樽に建築の立場から関わる仕事をしたいと思い志望しました。

働いていて実感すること

職場では様々な部署の方々と、現場では専門業者の方々と相手に仕事をするため、建築の専門的な知識以外にも、幅広い能力が必要とされます。

そのため毎日新しく知ることも増え、大変なことが多いですが、同じだけやりがいを感じる事が出来ます。

また周りの先輩方に助けをいただきながら楽しく仕事をさせていただいて、毎日充実しています。



土木技術

この仕事を選んだ理由

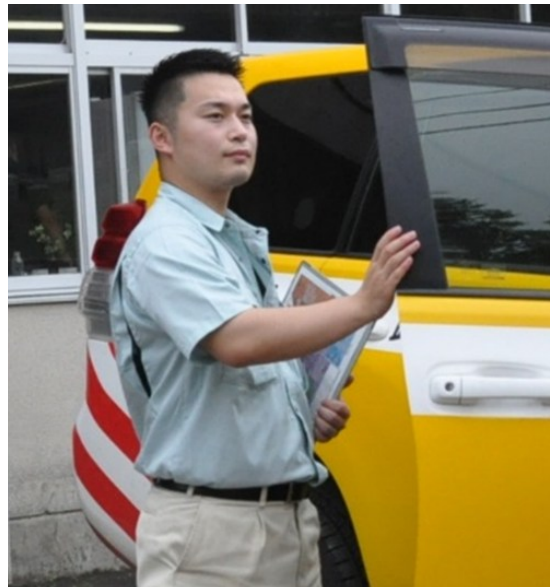
民間では河川工事や圃場整備が多く、工事を終えても実際に市民が利用している姿を見たり人の為になっていると実感することが少なかったため、発注者の立場として、市民の皆さんの声を実際に聞きながら土木に携わっていきたいと思ったからです。

やりがい

市民の声を聞けること！

民間企業で働いていたときは、同じ土木関係の仕事でも、人のためになっているのか実感できませんでした。

市職員として働いたことで、直接、市民の声を聞く機会ができ、やりがいにつながっています。特に感謝の電話を受けた時は、この仕事をやっていて良かったなと思いました。



消防士

この仕事を選んだ理由は？

東日本大震災が起きた際、テレビの前で何も力になることができないことが悔しく、人の役に立ちたいという気持ちがありました。その時に救助活動を行っている消防士に憧れを抱き、自分の手で人の命を助けたいと感じ、消防士になることを決意しました。

働いていて実感すること

出勤や訓練ばかりだと思っていましたが全くそうではなく、火災を起こさないための予防業務等もたくさんあり、この仕事の重大さを日々感じています。また、先輩方とも協力し合える環境であるため、お互いにコミュニケーションをとることができて、技術・知識など勉強の毎日でやりがいを感じています。



求める人材

市民の目線に立った職員

市民の立場に立って物事を考え、市民の満足度を念頭において市民ニーズを施策に反映することができる職員。

チャレンジ精神を持った職員

前例にこだわることなく、常に問題意識と意欲を持って、職務に創意工夫を加えながら、新たな課題解決に企画力と探求心を持って、積極的かつ果敢にチャレンジすることができる職員。

倫理観・使命感を持った職員

公務員として高い倫理観と使命感を持ち、親切で丁寧な対応と迅速な行動を心掛けるとともに、全体の奉仕者として市民の立場に立って課題解決に取り組むことができる職員。

勤務条件・給与等

勤務条件

原則として、午前8時50分から午後5時20分までの勤務で、午後0時15分から午後1時までは休憩時間、1日当たり7時間45分の勤務時間です（条例改正などにより、変更となることがあります）。日曜日、土曜日のほか、国民の祝日等は休みです。ただし、勤務の時間帯や休日は、勤務箇所によってはこれと異なる場合があります。

休暇

一年度で20日の年次有給休暇のほか、病気休暇や特別休暇（健康増進休暇、服喪休暇等）などがあります。

初任給

採用される方の年齢や最終学歴及び職務経験年数などにより決定され、一般事務職の一例は下表のとおりです。ただし、給与改定などにより引き下げ又は引き上げられることがあります。

区分	初任給	その他の手当
大学卒	232,000円	給与条例に基づき、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当、寒冷地手当、扶養手当、時間外勤務手当等が支給されます。
短大卒	216,500円	
高校卒	200,300円	

(R7年4月現在)

福利厚生

北海道都市職員共済組合の組合員となります。

また、結婚・出産に対する祝金等の給付金、慶弔金の給付のほか、職員同士の親睦や健康増進を図るために、職場レクリエーション、部活動、人間ドックの助成、バスレクの実施、スポーツクラブ利用助成事業などを行っています。

【助成を行っている部活動】

運動部…バレーボール、野球、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、ボウリングなど
文化部…将棋部、英会話クラブ、書道倶楽部など

その他、各種健診、住宅取得や教育資金等の貸付事業、財形貯蓄、団体保険、契約宿泊施設の利用助成などがあります。

各種研修

職務の遂行に必要な知識、技能及び教養の向上を図り、全体の奉仕者としてふさわしい職員を養成することを目的として、職員研修を実施しています。

採用後まもなく、公務員としての自覚及び意識を養い、業務を進めるための基礎知識を習得し、仕事に対する意欲及び職場への適応力を高めるために「新規採用職員研修」を行います。

その後、採用半年後に新規採用から半年を振り返り、公務員としての自覚や心構えについての再確認を行うとともに、基本的な仕事の進め方を学ぶ「新規採用職員フォローアップ研修」を行うほか、入庁3年後、5年後、10年後を目途にそれぞれ「初級研修」、「中級研修」、「上級研修」を行い、若手職員に必要な課題解決能力や問題解決能力、プレゼンテーション能力、政策立案能力などの向上を図ります。

この他にも、接遇など職員の能力開発を支援する研修や、会計・契約実務、Excel操作など業務に必要な知識・スキルを習得するための研修を実施しているほか、研修機関への派遣研修や、職員が自らテーマを選び、先進的な取組を行っている自治体等に視察に行く先進地視察研修など、幅広い研修を実施し、小樽市が求める職員像を実現できる職員の育成を図っています。

職員提案制度

職員が自主的に行った業務に関する改善の結果報告や、庁内の課題を解決するアイデアについて、職員の自由な発想による提案を広く求める、職員提案制度を設けています。

提案内容は庁内に共有し、実現可能なものについては、実現に向けて取組を進めています。

優秀な提案については、職員投票や審査委員会の審査を経て、提案者を表彰しています。

お問い合わせ

〒047-8660 小樽市花園2丁目12番1号

小樽市総務部職員課人事係

TEL 0134-32-4111 内線215

mail syokuin-jinji@city.otaru.lg.jp